

セキュリティプラットフォーム 追加機能・改良機能一覧表 (Version3.1.1)



セキュリティプラットフォーム に追加された機能と、改善された機能についてご紹介いたします。

2012年7月

追加・改良点	製品名	詳細
アプリケーション対応	ベーシック evolution /SV ベーシック + AD evolution /SV 各オプション	Google Chrome (19.0.1084.56)に対応しました。 現バージョンでは、 拡張アクセス権機能、セキュア印刷OP機能、編集履歴OP機能は未対応です。 対応OSは、WindowsXPのみとなります。
新機能追加	ベーシック evolution /SV ベーシック + AD evolution /SV	【緊急除外アプリケーション設定機能】 指定したアプリケーションがSePによる監視処理の影響を全く受けない設定にすることができます。
機能改善	ベーシック evolution /SV ベーシック + AD evolution /SV 各オプション	【ストレスフリー対応】 ストレスフリー対応に伴い、SePの監視時間が短くなりました。 具体的には下記の改善がされています。 <ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーション起動速度が速くなりました ・信頼領域であるかどうかの判定処理が速くなりました ・ファイルアクセスが全般的に速くなりました ・ファイル保存 / 作成が全般的に速くなりました ・ブラウザにおけるアップロード / ダウンロード処理が速くなりました

*セキュリティプラットフォームの著作権その他一切の知的財産権は hummingheads 株式会社に帰属します。
 * hummingheads セキュリティプラットフォームは、 hummingheads 社の登録商標です。
 * Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標、及び商標です。
 * その他のブランド名や製品名もそれぞれの所有者の商標または登録商標です。
 * 本製品の仕様については、事前の予告なしに変更することがあります。
 * 本書の内容の一部・または全ての無断複製・転用・転載等は、特定の場合を除き、 hummingheads 社の著作権の侵害になります。
 * このレポートは2012年7月現在のものです。